

# 心の土台

～心の時代の福音～

2022/12/25

クリスマス礼拝

# 「自己肯定感(じここうていかん)」

- ・「ありのままの自分を肯定する、好意的に受け止めることができる感覚」のこと

|       | 高 い    | 低 い   |
|-------|--------|-------|
| 精神    | 安定     | 不安定   |
| 受け止め  | 肯定的    | 否定的   |
| 行動    | 積極的    | 消極的   |
| 他人の評価 | 左右されない | 左右される |
| 承認欲求  | 弱い     | 強い    |
| 関係性   | 自立     | 依存    |

# 自己肯定感を形づくるもの

## •親の愛

- 神は、親になると無条件に我が子を愛する気持ちを与えて下さる
- 条件付きやムラがある場合は逆効果

## •友情

- 良好で長続きする友人関係

## •教師・コーチの評価

- クラスや部活での存在価値を認める

関わる人の愛情によって自己肯定感が作られる

# 自己肯定感を形づくるもの

## •親の愛

- 神は、親になると無条件に我が子を愛する気持ちを与えて下さる
- 条件付きやムラがある場合は逆効果

## •友情

- 良好で長続きする友人関係

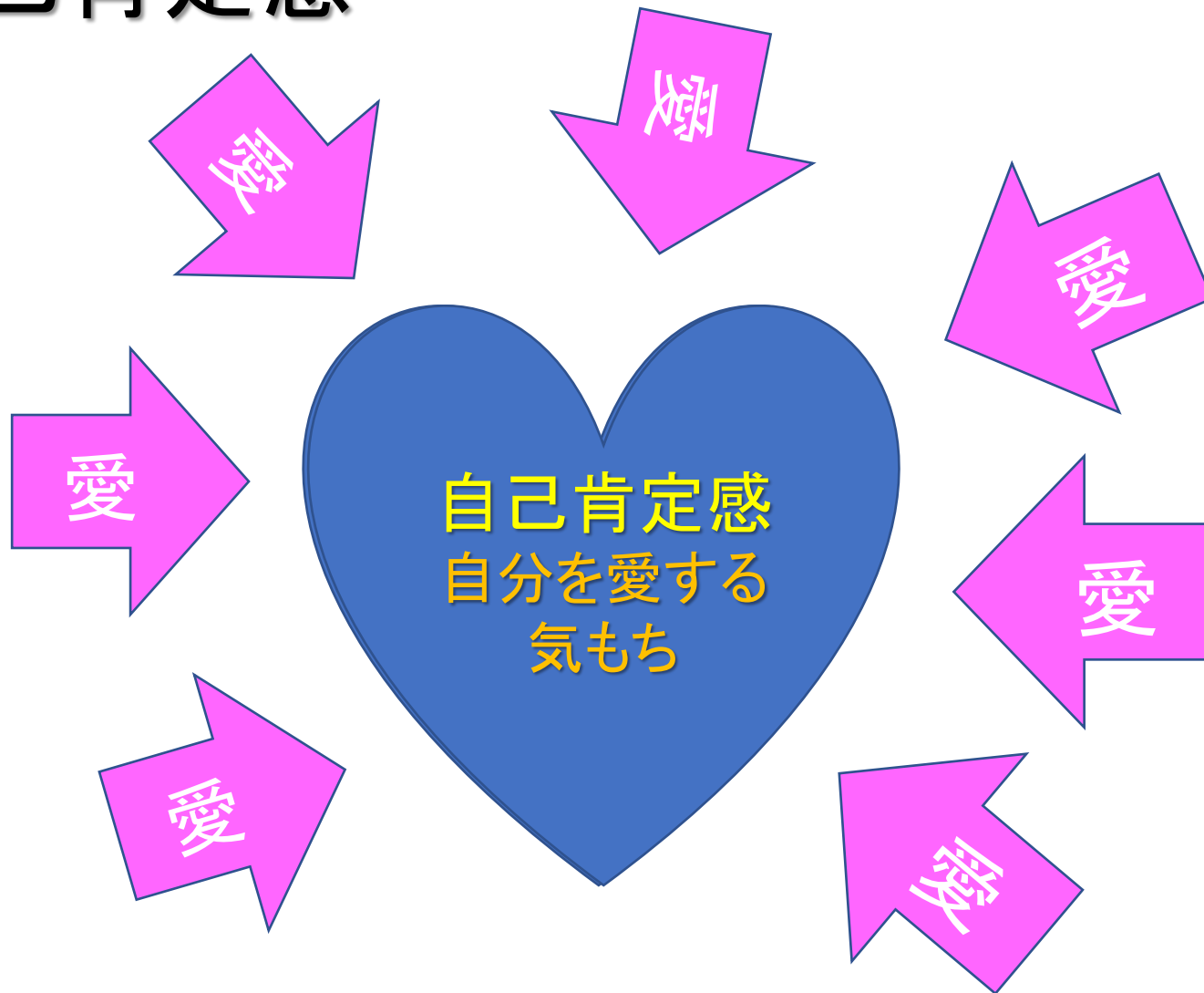
## •教師・コーチの評価

- クラスや部活での存在価値を認め

私たちは誰かの  
自己肯定感を  
作っている

関わる人の愛情によって自己肯定感が作られる

# 自己肯定感

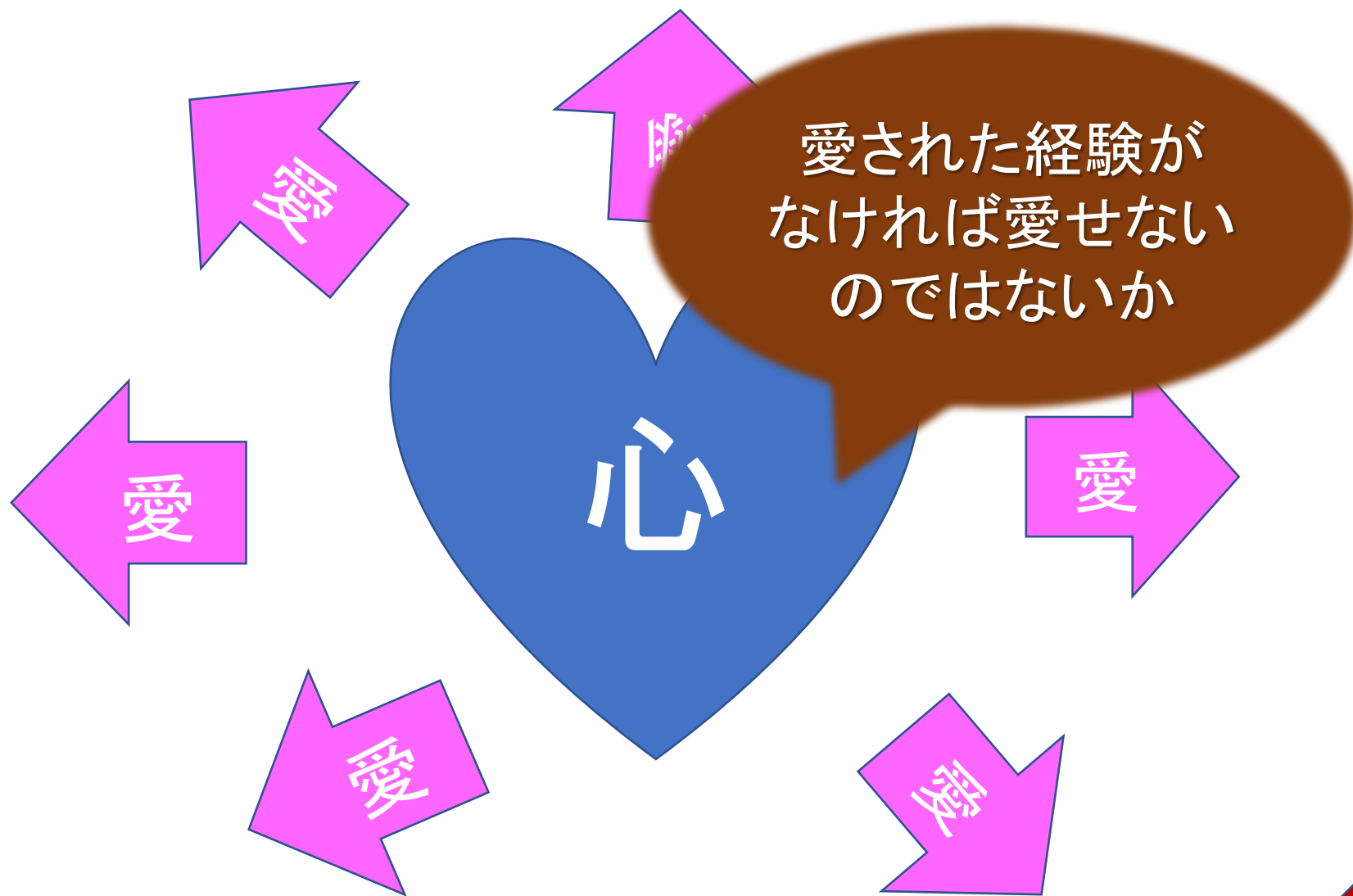


# 神が私たちに命じておられる事

イエスはお答えになった。「第一の掟は、これである。『イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』第二の掟は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほかにない。」

マルコ福音書12章29～31節

# 神が命じておられる事



# クリスマスに表された神の愛

神は、独り子を世にお遣わしになりました。  
その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して、わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わしになりました。ここに愛があります。

ヨハネの手紙一 4章9～10節



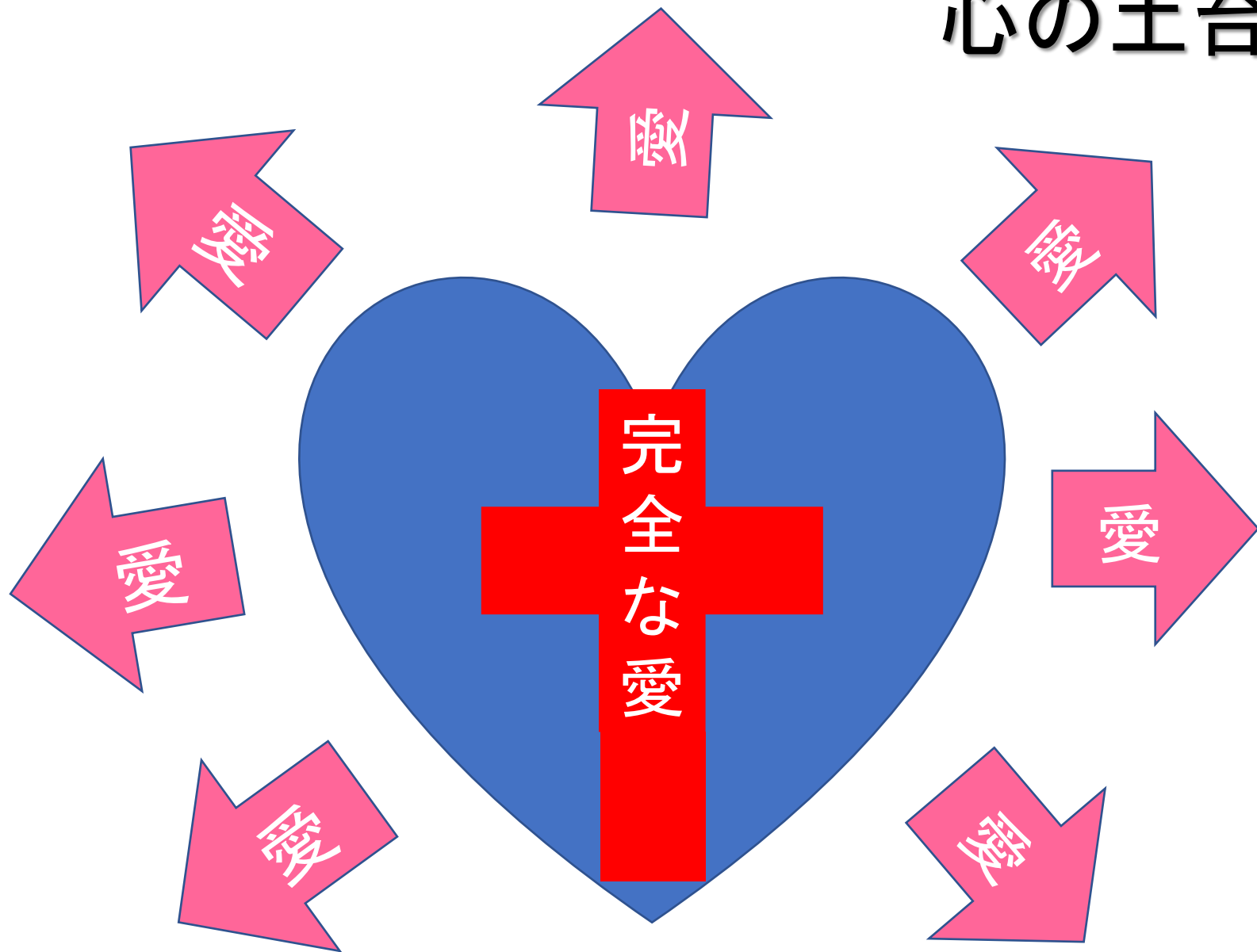
# 完全な愛の供給

- 私たちを造った方によって与えられた、＜独り子を与える＞という完全な愛
  - 神は「わたしたちの罪を償ういけにえとして、御子をお遣わし」になった
  - 神はご自分の独り子よりも私たちを価値ある者とされた
- 不十分で不完全な愛ではなく、十分に完全な愛を「自己肯定感」のよりどころとすべきである
  - 人間の愛は不完全で不十分である
  - 一度きりの出来事だが、十分である

# 完全な愛の模範

- 独り子(キリスト)によって示された<命を捨てて>という完全な愛の模範
  - 「その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。」
  - 「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。」ヨハネ福音書15:13
- 与えられ、示された完全な愛に基づき、私たちは神と人を愛していく
  - 「これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。」コロ3:14

# 心の土台



# クリスマスこそ福音

「神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。」

ヨハネの手紙一 4章9節

*Christmas is the Gospel!*

